

出張調査報告書

平成29年8月25日

松伏町議会議長 佐藤永子様

会派名 自民クラブ

代表者氏名 高橋昭男



下記のとおり先進地視察をしたので届け出ます。

記

1. 期 日	平成29年7月26日から平成29年7月27日
2. 視 察 地	(1) 徳島県鳴門市 7月26日(水) 13時~15時 (2) 徳島県那賀町 7月27日(木) 10時~12時
3. 視 察 目 的	(1) 1. 人口減少対策の取り組みと笑顔と魅力うずまく “地域婚活支援事業”の概要 2. 市制施行70周年記念事業の概要 3. We Love なるともちづくり活動応援事業の概要 4. エコノミックガーデン事業の概要 (鳴門市) (2) 徳島版「地方創生特区」ドローンを活用した地域活 性化の取り組みについて (那賀町)
4. 視 察 者 氏 名	高橋昭男 佐藤永子 松岡高志 田口義博 増田 等
5. 視 察 結 果	行程、視察結果は別紙のとおり

行政視察報告書

平成29年8月25日

松伏町議会議長 佐藤 永子 様

自民クラブ
代表 高橋 昭 男

日 程 平成29年7月26日から27日の2日間
視察地及び内容 第1日目 徳島県鳴門市
(1) 人口減少対策の取り組みと笑顔と魅力うずまく
” 地域婚活支援事業 “の概要
(2) 市制施行70周年記念事業の概要
(3) We loveなるとまちづくり活動応援事業の概要
(4) エコノミックガーデン事業の概要
第2日目 徳島県那賀町
(1) 徳島版「地方創生特区」ドローンを活用した地域活性化の取り組みについて
視察参加者 高橋昭男議員・佐藤永子議長・松岡高志議員
増田 等議員・田口義博議員の5名
宿泊地 徳島市 ホテルサンルート徳島
視察目的







鳴門市は、今年、平成29年5月15日に市制70周年を迎え「We loveなると」、「プロモーションキャッチコピーの募集」、「ロゴマークの作成」など様々な文化事業を行い、市民が市政に参加する意欲と市の魅力の再発見、再認識の契機としている。鳴門市の取り組みから、本町の町制50周年記念事業を考察し、町の活性化を目指すものである。また、エコノミックガーデン事業は地元企業を成長させ、地域活性化を目指すものである。本町の主産業である農業など、既存事業の活性化は重要な課題である。本町の取組みに資すること考察する。

那賀町は、まち・ひと・しごと戦略課ドローン推進室による地方創生事業として、ドローン活用事業を住民参加型の地方創生事業として、展開している。

事業概要、事業に至る経緯を参考にして、本町での事業展開の可能性を調査する。

自民クラブ 行政視察日程・行程（徳島県鳴門市・徳島県那賀町）

視察スケジュール

日時	内容	備註	
1日目 (7/26) 水曜日	7:20 新越谷駅集合	集合場所：改札前	
	7:34 新越谷駅出発	東武スカイツリーライン	
	8:05 押上駅着	乗換	
	8:13 押上駅発	都営浅草線	
		京急	
	9:06 羽田空港国内線ターミナル駅着		
	9:45 羽田空港出発		
	↓		JAL455 便
	10:55 徳島空港到着		
	↓ ※移動 (昼食)		※レンタカー移動
13:00 鳴門市市役所		視察研修	
15:00	↓ ※移動		※レンタカー移動
17:00 宿泊先ホテル到着		ホテルサンルート徳島	
2日目 (7/27) 木曜日	8:00 宿泊先ホテル出発	朝食	
	↓ ※移動		※レンタカー移動
	10:00 那賀町役場		視察研修
	12:00	↓ ※移動	
	12:00 昼食		※レンタカー移動
	13:00	↓ ※移動	
	14:30 徳島空港到着		
	15:30 徳島空港出発		
	↓		JAL460 便
	16:45 羽田空港到着		
17:10 羽田空港国内線ターミナル駅発			
18:04 押上駅着	京急		
18:15 押上駅発	都営浅草線		
18:41 新越谷駅着 解*	乗換 東武スカイツリーライン		

自民クラブ5名で、7月26日～27日の2日間、先進事例である徳島県鳴門市と那賀町を行政視察して参りました。

鳴門市は 四国瀬戸内海東側の入り口ですが、阿波踊りやうず潮で有名な街です。人口もここ近年減少傾向が続き、6万人を割り込む市へと変わりつつとのことです。

今回の視察では、次の4事業について調査して参りました。

調査内容 ①人口減少対策の取り組みと笑顔と魅力うづまく”地域婚活支援事業“の概要

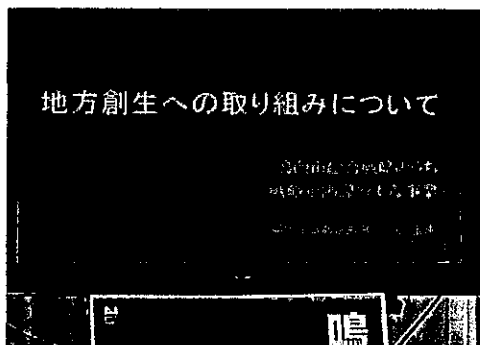
②市制施行70周年記念事業の概要

③We loveなるとまちづくり活動応援事業の概要

④エコノミックガーデン事業の概要



鳴門市議会会議室にて



調査事項が多く、3時間に及ぶ調査にご協力いただきました。

we loveなるとまちづくり活動応援事業の概要

「鳴門市自治基本条例」の理念に基づき、「市民が主役のまちづくり」実現を目指し、主体的にまちづくりに取り組む団体の活動促進と経済的自立に向けた支援をするため、平成25年度に創設されたもの。

補助対象者

市内在住・在勤・在学する者5人以上含むNPO法人やボランティア団体などが自ら企画実施する、地域課題の解決に向けた公益的事業。

応募部門

平成25～27年度は、「市民提案型」で2部門を設定。

①「新たな一歩支援」部門： 設立後2年未満の団体に特化して支援

②「ステップアップ支援」部門： 設立経過年数に関係なく活動を発展させたり新たな取り組みを展開しようとする団体を支援

28年度からは、「市民提案型」に加え、「行政提案型」を新設。
市が設定したテーマに対し、市民活動団体等がノウハウを生かした企画提案を行い、市と協働で事業を実施する。

29年度は、予算を300万円位増額し、6団体に交付予定。

補助金額

「市民提案型事業」は、補助対象経費の3/4又は30万円のいずれか低い額以内。

「行政提案型事業」は、補助対象経費の10/10又は50万円のいずれか低い額 以内。

4年間の実績として 31団体に516万8000円が交付。

- その事業は
- ・「絵本づくり」や「外遊び体験」などの子育て支援
 - ・高齢者の健康増進や多世帯交流
 - ・家族で参加できる体験型防災イベントの開催
 - ・音楽祭や文化振興に関するイベントの開催など

※松伏町ではこのような事業に対しての補助はありません。

人口減少対策の取り組みと笑顔と魅力うづまく”地域婚活支援事業“の概要及びエコノミックガーデン事業の概要については、資料を参照願います。

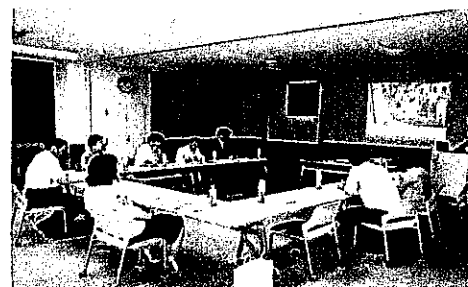
那賀町は、徳島県の南部に位置し、平成17年平成の大合併時に5町村が合併したまちで、約700㎏と松伏町の40倍もの面積を持ち、95%が山林。人口も9千人余と少なく、減少傾向が続いています。
町は、温泉とジビエとドローンを基に町おこしに取り組んでいる。

今回の視察では、『徳島県版地方創生特区』（ドローン特区）の概要について、調査しました。

日本一ドローンが飛ぶ町を目指し、ドローンを活用した町おこし。

平成27年度は

- ①徳島大学三輪准教授による「ドローンってなに？」をテーマに講演会と実機デモ
- ②第1回林業実証実験木材集材用ワイヤーのリード



那賀町会議室

ープ展張（130m）

③役場職員への操縦講習会 他

平成28年度は

①ドローン1日体験プログラム（町内5か所で開催）

②徳島ドローン特区那賀町PRドラマ「若葉ころに」を制作
人口減少を食い止めるための町おこしとして、多種多様なドローンによる空撮動画をふんだんに使用し、四季折々に変化する美しい大自然をアピールした。

③国土交通省の協力も得て、輸送実証実験
買い物難民減少に繋がり、食料品配送だけでなく処方薬配送も可能と、実験を参考として町実状や地形に応じた利用法を模索する。

④ドローン推進室を4月に設置 まち・ひと・しごと戦略課に利活用を積極的にアピールし、まちおこし施策を展開する。

⑤第3回林業実証実験木材集材用ワイヤーのリードロープ展張（400m）

⑥ドローンマップの作製 町内を飛行推奨区域と不可区域に区別し、景勝地等フライトスポットを電子媒体及び紙ベースで紹介。

⑦鳥獣害対策実証実験 年間数千万円に上る被害に対する実験。町には捕獲した動物の種類により、補助金を出している。例：サルで3万円

今後の事業展開は

①携帯電話を利用したドローン自動運行による物流実証実験

②搭載サーモグラフィによる火災現場鎮火状況の確認、可視カメラによる災害現場における被災者発見実証実験

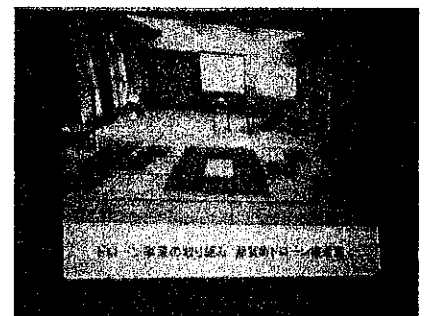
③全国ドローンレース選手権四国予選開催

④徳島ドローン特区那賀町PRドラマ「若葉ころに」を全国のケーブルテレビ網で放送など、全部で13項目が挙げられている。

松伏町でドローンを飛ばすことが可能か

無人航空機を飛行させるには、国土交通大臣の承認が必要です。

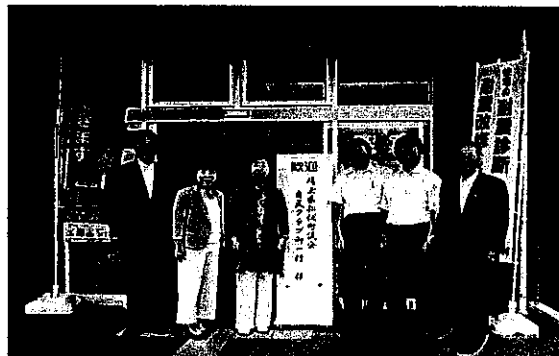
できる範囲は ・日中での飛行・目視の範囲内・距離の確保（30m）



説明会会場

飛行禁止区域 ・ 空港周辺 ・ 150m以上の上空 ・ 人家の密集地域

※飛行させたい場合は、国土交通大臣の許可が必要、所定の手続を。



以上、視察の一端ですが、報告とさせていただきます。 那賀町副議長と記念